

# 外国から来た子ども達への日本語指導

## 誰が、何を、どう教えるのか？

### ～文科省発表の最新政策から見えてくる未来ビジョン～

草加市では日本語を母語としない多くの子ども達が学校で学んでいます。

そして、私たちはそんな子ども達に対して、日本語指導などの支援を続けてきました。

そのような中、今年5月19日に文部科学省が発表したのは

「定住外国人の子どもの教育等に関する政策懇談会」の意見を踏まえた政策のポイントです。

その政策懇談会の委員でもある川上先生に、懇談会の様子や発表の画期的な点についてお聞きし、

これをどのように活かしていったら良いのかを参加者で探りたいと思います。

また、今は「移動する子ども」の時代であり、その子ども達への「ことばの教育」とは…など

現場での多様な実践研究を通しての考えを、お聞き出来るまたとない機会です。



日時： 7月25日（日）午後1時半から3時半

場所： 草加市文化会館 第1会議室（3階）

定員： 60名（先着順）

費用： 無料

講師： 早稲田大学 大学院 日本語教育研究科

教授 川上 郁雄 先生

連絡先：Tel.: 080-2049-4117 ((特・非)リビング イン ジャパン)

Mail: sokaliving@yahoo.co.jp

主催 特定非営利活動法人 Living in Japan

(草加市役所内にて市民の立場から国際相談コーナーを運営しています。)



## ＜文科省発表 施策のポイント＞から

入りやすい公立学校を実現するための3つの施策

- ・第一に日本語指導の体制の整備
- ・第二に定住外国人児童生徒が、日本語学校生活に適応できるよう支援体制を整備
- ・第三に公立小中学校へ入学・編入学する定住外国人児童生徒の受け入れ態勢について、制度面の検討を含め、環境整備を行うとともに、**上級学校への進学や就職に向けた支援**を充実（詳細説明の中から抜粋：「・・・学齢を超過した者を含め、いわゆる夜間学級を活用したりするなど、小学校または中学校に入りやすい環境の整備を促進。」）

講師 **川上 郁雄** 先生について（早稲田大学・川上研究室HPより）

- ・専門は、年少者日本語教育学 ・移民・難民研究 ・言語教育政策
- ・国内外の初等・中等教育レベルの子どもたちを対象にした日本語教育について研究を行っています。

主な編著書： 川上郁雄編著『「移動する子どもたち」と日本語教育—日本語を母語としない子どもへのことばの教育を考える—』『「移動する子どもたち」の考える力とリテラシー—主体性の年少者日本語教育学—』『海の向こうの「移動する子どもたち」と日本語教育—動態性の年少者日本語教育学—』（いずれも明石書店）ほか多数。

川上研究室 WEB サイト <http://www.gsjal.jp/kawakami/>

- ・文部科学省「JSL カリキュラム」の開発委員。 博士（文学、大阪大学）

私たち**特定非営利活動法人 Living in Japan**は、

日本語を母語としない

日本文化を母文化としない人たちが

日本で生活したり 子どもが学校に通うことの支援を行い

より良く地域になじみ、暮らせること と

成熟した多文化共生社会として、

お互いの文化などを尊重し合える まちづくり を

目指しています。

### ＜事業内容＞

- ・国際相談コーナー（2003年より市役所内に設置）の運営  
平成21年度利用件数 2261件  
児童生徒支援時間数 1621時間
- ・にほんごで勉強会（獨協大と谷塚文化センターにて）21年度実施回数96回
- ・資料閲覧・貸し出し
- ・多文化共生のための講師 など

## 募集中

活動に参加する会員、ボランティアスタッフ、応援してくれる賛助会員など。  
興味のある方はご連絡ください。

**NPO 法人 Living in Japan** 代表理事 <sup>やなせ</sup> 築瀬 裕美子  
〒340-0044 埼玉県草加市花栗3丁目21番8-804号  
Tel. **080-2049-4117**  
Mail: [sokaliving@yahoo.co.jp](mailto:sokaliving@yahoo.co.jp)  
<http://www.p-kit.com/hp/sokaliving/>